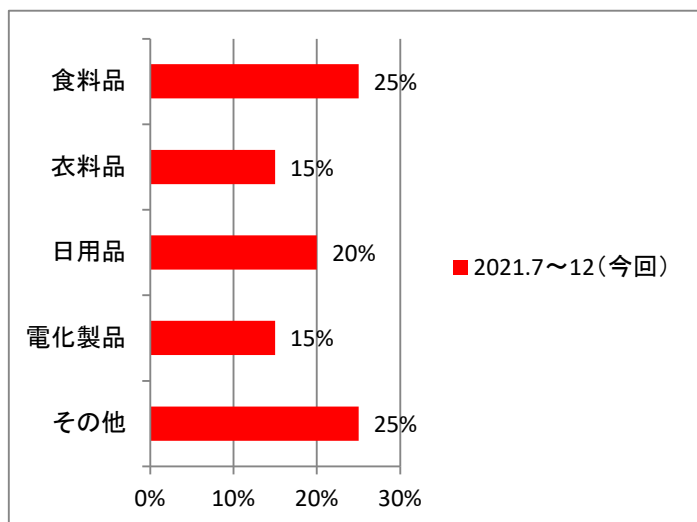


【 2022年1月実施 景況調査アンケート集計結果 】

◆◆ 卸・小売業 ◆◆

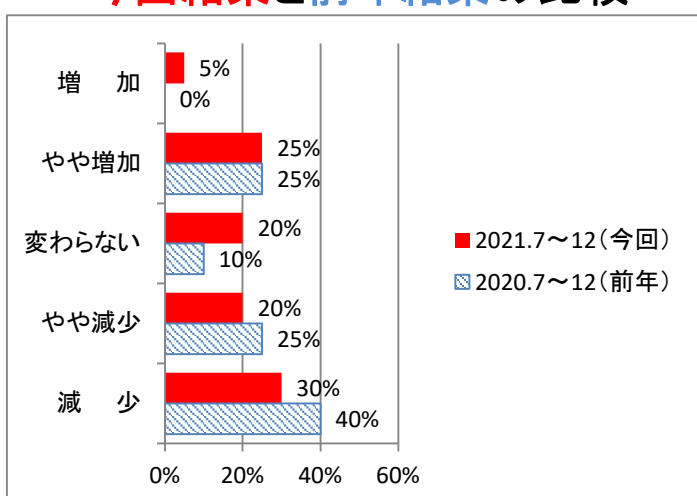
【 分類別 】



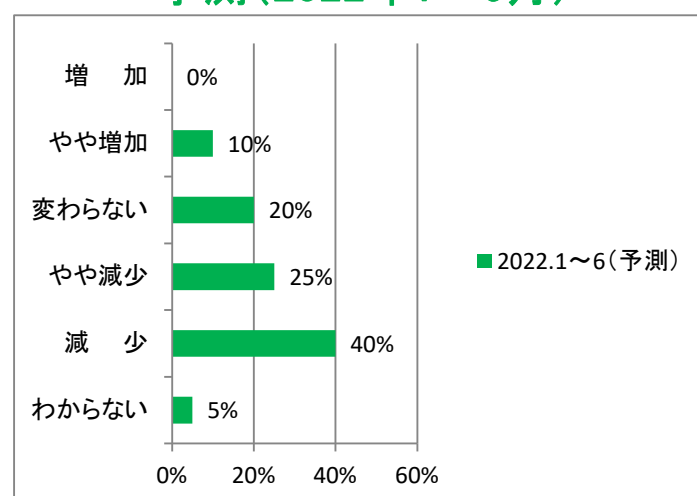
食料品25%、衣料品15%、日用品20%、電化製品15%、その他(ガソリンスタンド、薬局他)25%

【 売 上 】

今回結果と前年結果の比較



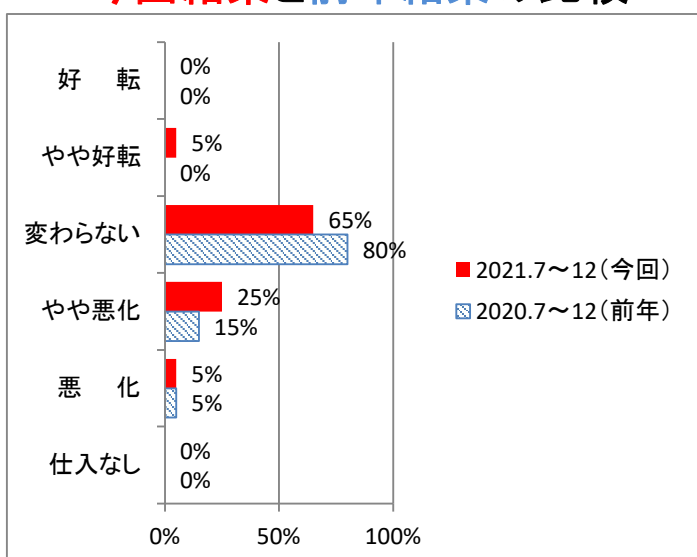
予測(2022年1~6月)



「やや増加」「増加」で30%となっているが、「やや減少」「減少」で50%を占めている。

【 仕 入 】

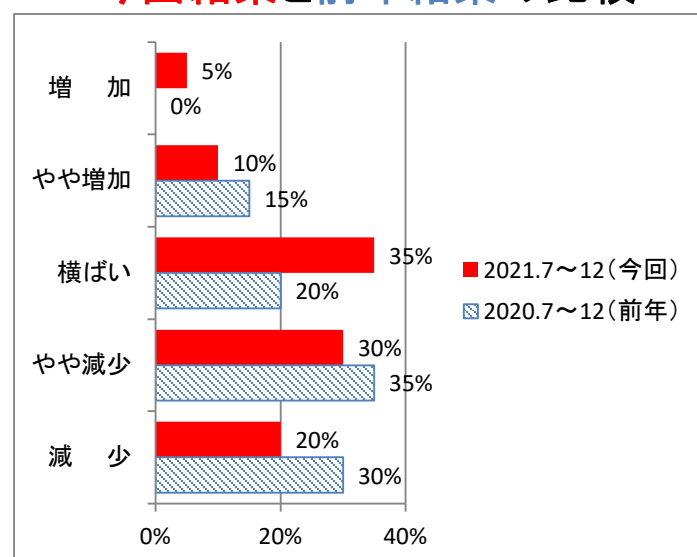
今回結果と前年結果の比較



「変わらない」が65%をしめているが、「やや悪化」が25%に増え、「やや悪化」「悪化」で30%となっている。

【 利 益 】

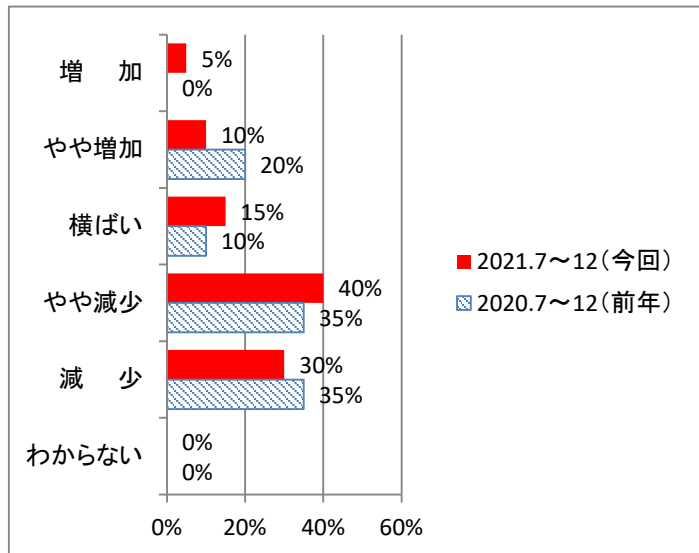
今回結果と前年結果の比較



「横ばい」が35%となっており、「やや減少」「減少」で50%を占めている。

【客数】

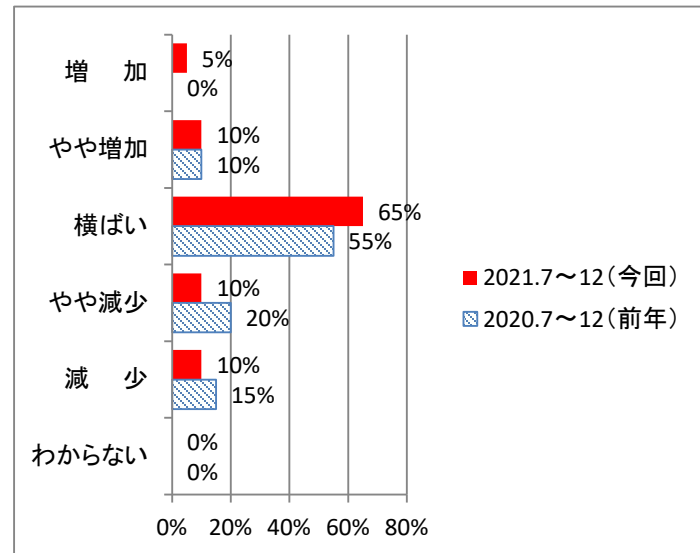
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」が40%、「減少」が30%となっており、前年と同様に「やや減少」「減少」で70%を占めている。

【客単価】

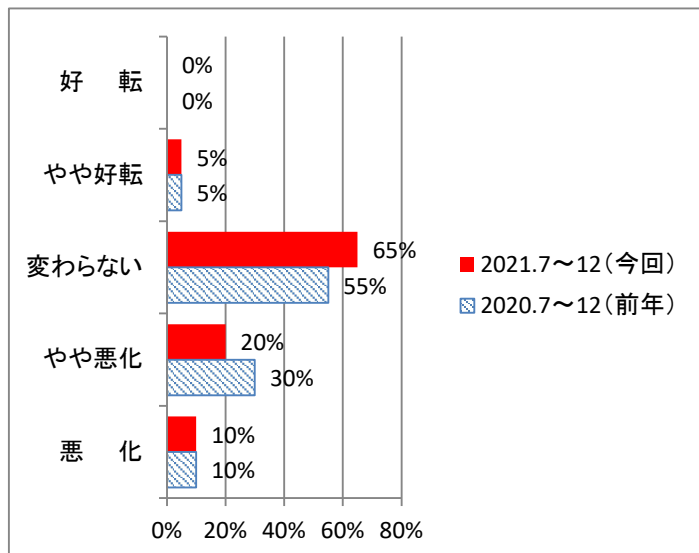
今回結果と前年結果の比較



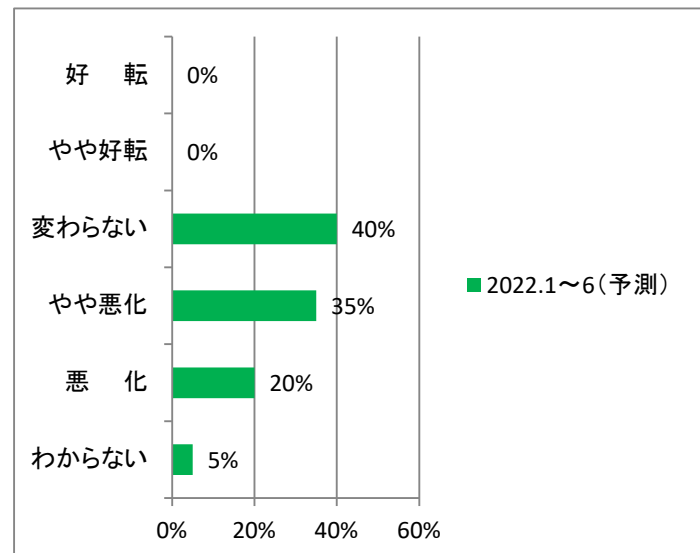
「やや減少」「減少」で20%となっており、「横ばい」が65%を占めている。

【資金繰り】

今回結果と前年結果の比較



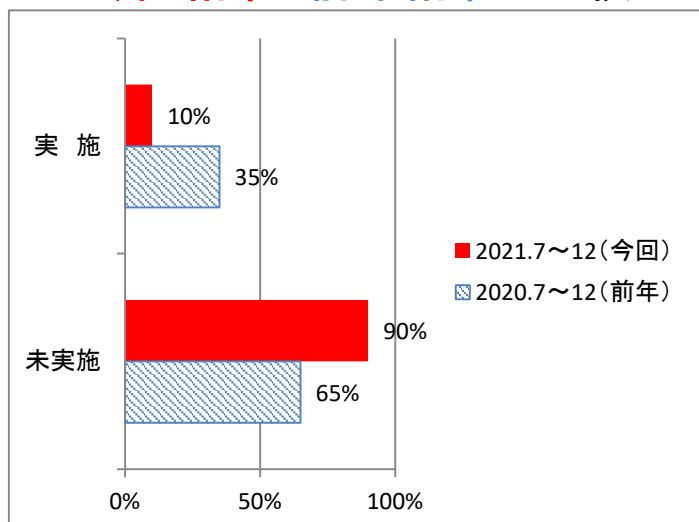
予測(2022年1~6月)



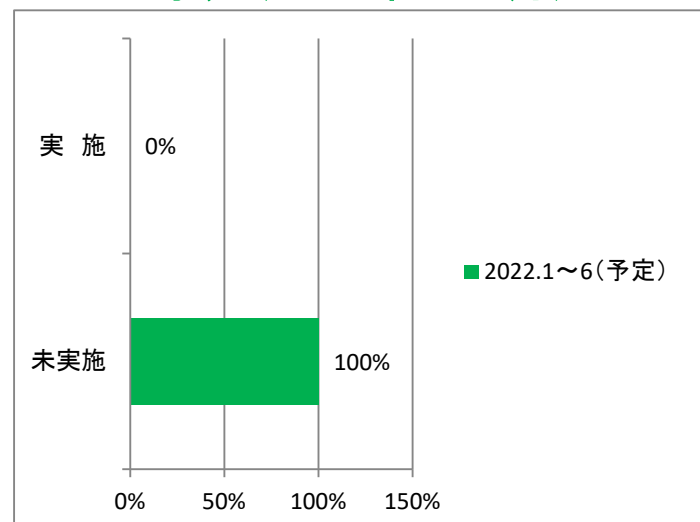
「変わらない」が65%と半数以上占めており、「やや悪化」「悪化」で30%となっている。

【設備投資】

今回結果と前年結果の比較



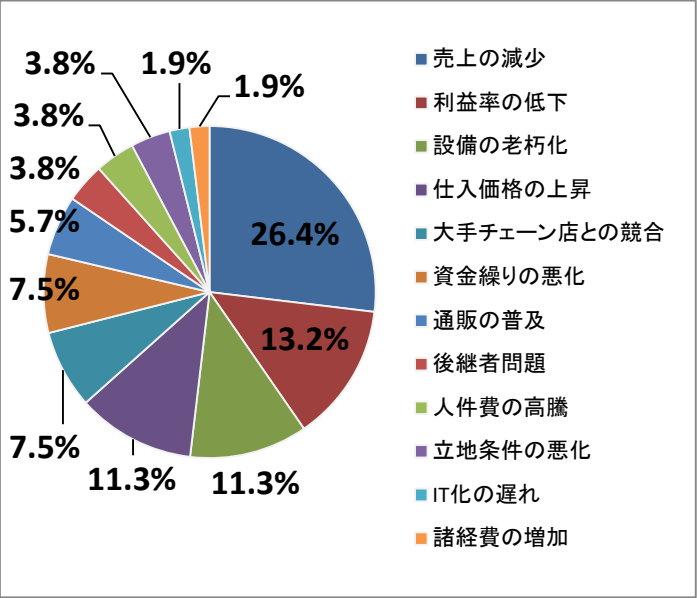
予定(2022年1~6月)



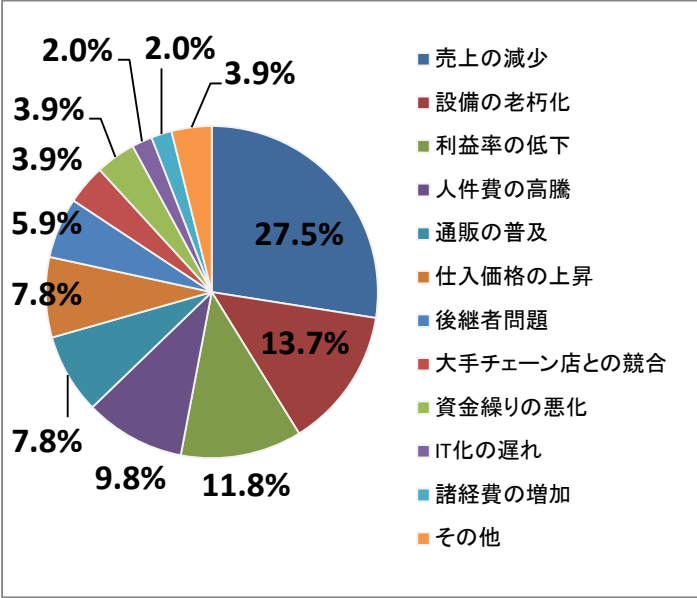
10%の事業所が設備投資を行っている。今後、設備投資を予定している事業所はない。

<< 経営課題 >>

今回(2021年7～12月)



前年(2020年7～12月)



売上の減少	利益率の低下	設備の老朽化	仕入価格の上昇
26.4%	13.2%	11.3%	11.3%
大手チェーン店との競合	資金繰りの悪化	通販の普及	後継者問題
7.5%	7.5%	5.7%	3.8%
人件費の高騰	立地条件の悪化	IT化の遅れ	諸経費の増加
3.8%	3.8%	1.9%	1.9%

売上の減少	設備の老朽化	利益率の低下	人件費の高騰
27.5%	13.7%	11.8%	9.8%
通販の普及	仕入価格の上昇	後継者問題	大手チェーン店との競合
7.8%	7.8%	5.9%	3.9%
資金繰りの悪化	IT化の遅れ	諸経費の増加	その他
3.9%	2.0%	2.0%	3.9%

経営課題で一番多く挙げられたのが「売上の減少」で26.4%、次に「利益率の低下」13.2%、「設備の老朽化」「仕入価格の上昇」で11.3%という結果であった。